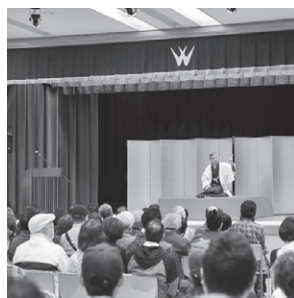


比布町ふるさと通信
2025年号

び び



まちの名前は、人と歴史をつなぐ大切なもの。今までも、そしてこれからも、「ずっと、ぴっぷ。」

ぴっぷ130年記念事業

令和6年、比布町は130年を迎え、多くの方にご協力をいただきながら数々の記念事業を実施しました。その経過と記録を掲載します。

記念事業企画委員会

令和6年1月11日、ぴっぷ130年記念事業に向けて、J Aや商工会、文化・スポーツ団体の役員を企画委員に委嘱し、記念事業企画委員会を開催しました。

比布町ふるさと応援大使

町出身の著名人で、町の魅力を発信して応援いただく「ふるさと応援大使」の第1号に、ギタリストの笈川さんを委嘱しました。



比布町出身の笈川司さん(右)

6月30日、笈川さんの所属バンドBUGY CRAXXONも出演した野外ライブ「毎JAM」で、村中町長から委嘱状が手渡されました。

3同郷会合同ふるさと訪問

8月1日、3つの同郷会員が町を訪問する「旭川・札幌・東京比布会合同ふるさと訪問」を開催し、町民含む69人が参加しました。交歓会がにぎやかに行われたほか、小学校跡地や比布中央学校の見学など、特別な一日を過ごしました。

ギネス世界記録®に認定

8月4日、町体育館でギネス世界記録®「同時に卵かけご飯を作った最多人数」に挑戦し、325人が成功して認定されました。

この挑戦は、令和5年11月に行われた比布活性化プロジェクトで、比布中央学校9年生が「卵かけご飯で比布町の名を世界に広めよう」と町長に提案したのがきっかけでした。



町内外から327人の挑戦者が集結

水森かおりさん来町

8月4日、「第2回ぴっぷ夏まつり」が農村環境改善センターで開催。特別ゲストとして比布町応援大使の演歌歌手・水森かおりさんが登場し、「宗谷本線比布駅」など9曲を披露。超満員の会場は大いに盛り上がりしました。

打上花火も行われ、短い夏を華やかに彩りました。

4 連合交流PG大会
8月25日、日本パークゴルフ協会北海道Aブロックの大会がグリーンパーク



ぴっぷで開催。上川・オホーツク・宗谷・オロロン地区の会員94人が参加し、コースに快音を響かせました。

「真打ち競演」公開収録

9月27日、NHK旭川放送局との共催で、ラジオ番組「真打ち競演」の公開収録を農村環境改善センターで開催。町内外から約300人の観客が詰めかけ、プロの漫才や落語を楽しみました。

湖南市母村散策ツアー

11月16日から18日にかけて「湖南市母村散策ツアー」を実施し、町民参加者5人を含む7人が滋賀県湖南市を訪問しました。

湖南市(旧甲西町)は、明治28年に下田地区からピップ原野へ開拓団が入植しており、本町にとって母村の一つです。現地の温かい歓迎を受け、湖南市との交流を深めました。

各種記念グッズ

ぴっぷ130年記念ロゴマークをあしらった記念メ

ダルを作製し、子どもが参加する文化・スポーツ大会の入賞者に贈呈しました。

また、ピップ株式会社から130年記念パッケージの「ピップエレキバン」1、000個を寄贈いただき、各種イベント参加者に配布しました。



記念メダル(上)
記念パッケージのエレキバン(下)

町史第4巻(平成史)発行

第3巻(平成9年発行以降の町の歩みを記録した「比布町史第4巻(平成史)」を発行しました。

<p>規格 B5版・884ページ</p> <p>価格(税込) ・比布町民4千円 ・同郷会員5千円 ・町外の方6千円</p> <p>※送料は実費負担(着払い)</p> <p>販売窓口 役場総務企画課 総合政策室 まち発信係 ☎0166-85-4802</p>

ふるさと会から

各会では会員を募集しています。各連絡先、または、比布町役場総務企画課総合政策室まち発信係へお気軽にお問い合わせください。



水森かおりの「宗谷本線比布駅」を合撮

旭川比布同郷会

- 会 長 南本 律子さん
 - 会 員 約 200 人
 - 総 会 費 毎年 9 月上旬ごろ
 - 会 費 6,500 円程度
 - 連絡先 大谷 英躬さん
- ☎ 090-2052-3364



出席した 17 回生の皆さん

札幌比布会

- 会 長 大谷 知彰さん
 - 会 員 約 150 人
 - 総 会 費 毎年 7 月上旬ごろ
 - 会 費 7,000 円程度
 - 連絡先 高橋 美伸さん
- ☎ 090-1640-3453



おいしい料理を囲みながら近況報告

東京比布会

- 会 長 牧野 正さん
 - 会 員 約 250 人
 - 総 会 費 毎年 6 月下旬ごろ
 - 会 費 8,000 円程度
 - 連絡先 深瀬 和昭さん
- ☎ 048-554-6765

ありがとうございます

令和 6 年 3 月、札幌比布会役員の飛弾野敏子さんから比布中央学校新 1 年生に向けて、手作りのアクリルコースターが贈られました。心温まる記念の品を、ありがとうございました。



ふるさと納税で比布町を応援してください！

「ふるさと納税」は、自分が住んでいる自治体以外に寄付をすることで、税の控除が受けられます。また、そのお礼として町の特産品をお送りします。ふるさと納税で比布町を応援しませんか？

詳しいお問い合わせは
役場商工観光課 商工観光振興室 経済活性化係 ☎ 0166-85-4806



比布町ふるさと納税
イメージキャラクター
ふるさと小僧

Town News まちのできごと

2024.1-12

令和 6 年 1 月 27 日

- 寒河江冨六さん(6年)が「第28回全国少年少女選抜レスリング選手権大会」小学生男子50キロ級で第3位に入賞
- 2月6日 勝見洸太さん(8年)が「第61回全国中学校スキー大会」男子ジャイアントスラロームに出場
- 2月9日 5区にジビエ工房「PIPIYUK」(代表 桑野未来氏)開設
- 2月17日 大島いちかさん(4年)が「第13回びわ湖カップ」なでしこサッカー大会(全国大会)に出場
- 3月5日 今井明信さん(西町)が

全国町村議会議長会「自治功労者表彰」を受賞

- 3月6日 今野勝貴さん(4区)が第62回全国青年農業者会議・プロジェクト発表会「農林水産省経営局長賞(優秀賞)」を受賞
- 3月9日 緑町に「びっぐ動物病院」(院長大瀧将吾氏)開院
- 3月30日 大泉遼さん・鳩澤真人さんペア(5年)が「第23回全国小学生ソフトテニス大会」に出場
- 3月31日 夏井みいなさん・久保田琉さん(6年)が「第65回全国選抜少年剣道錬成大会」に出場

4月1日

- 旧蘭留小学校校舎内に木製バット工房「KITAKARA」(代表 稲原周作氏)開設
- 4月26日 比布中央学校9年生が修学旅行で東京比布会役員と交流
- 5月4日 菅野博孝さん(10区)が家元を務める菅野孝山流・孝山会が「第18回津軽三味線日本一決定戦」団体りんごの部で優勝
- 6月2日 千葉俊冨さん(9年)が「第46回口笛世界大会」ティーン部門で優勝
- 6月22日 東京比布会が総会を開催
- 7月7日

7月25日

- 札幌比布会が総会を開催
- 上道敬翔さん(8年)・野内陸来さん(7年)・梅澤満喜さん(7年)が「文部科学大臣杯第20回小・中学校将棋団体戦」に出場
- 9月1日 旭川比布同郷会が総会を開催
- 9月4日 町行政相談委員の岡田功さん(9区)が総務大臣表彰を受賞
- 11月3日 星明美さん(南町)が比布町文化奨励賞を受賞
- 11月30日 西町にくるみ保育園(社会福祉法人大悲会運営)の新園舎が落成

※児童生徒は当時の学年で掲載しています。

歴史を訪ねて

社会福祉法人大悲会が運営する「くるみ保育園」の新園舎が完成し、昨年12月から新園舎での保育が始まりました。さらに、4月には認定こども園として開園する予定で、本町の保育環境がより充実していきます。

くるみ保育園の歴史

戦時体制下の銃後事業の一つとして、応召家庭（戦争で家族が出征した家庭）の幼児保育が行われていました。この流れの中で、昭和17年4月に宮崎光が弘誓寺の本堂で託児所を開いたことが、後の「くるみ保育園」、そして、本町の児童福祉施設の始まりです。

終戦後、昭和20年10月にこの託児所は廃止されましたが、28年に宮崎光が近所の主婦と協力して再開し、30年には私財を投じて「くるみ保育園」を設立しました。この時点ではまだ無認可でしたが、本格的な保育事業が始まりました。

次第に入園希望者が増え、通年制の認可保育園が望まれるようになった昭和43年12月、社会福祉法人大悲会が設立され、旧東園小学校の校舎を移築改装して園舎を整備。翌年3月には定員60人の通年制認可保育園が誕生しました。

以来、定員の増減や園舎の老朽化に対応しながら増改築を重ねてきましたが、運営主体である大悲会は、新たに園舎を中央ふれあい広場（旧児童公園）内に新築移転することを決定。それにあわせて、幼稚園と保育園の良さを併せ持ち、教育と保育を一体的に行う「認定こども園」を、令和7年4月に開設することになりました。

（参考・比布町史）



遊具で遊ぶ園児たち（昭和39年撮影）

弘誓寺の本堂横に設けられた遊具で元気に遊ぶ園児たち。当時の定員は40人で、年間290日開設されていました。



園舎をリニューアル（平成9年撮影）

老朽化に伴い改築された園舎。改築後は約28年間にわたり使用され、多くの園児たちの思い出が詰まった場所となりました（現在は解体済み）。



くるみ保育園新園舎の外観（令和6年11月撮影）

木のぬくもりをいっぱい感じられる園舎に生まれ変わりました。

発行・編集

ふるさと通信『びび』令和7年3月5日発行（通巻第25号）

■発行 比布町

■編集 総務企画課 総合政策室 まち発信係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111（代表） 0166-85-4802（総合政策室直通）

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



ナナブラザの新品「いちごピネガー」

まちの人口

総数 3,413人

男 1,611人

女 1,802人

世帯数 1,756世帯

■令和7年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信『びび』は、比布を離れられた人と比布を結ぶ情報紙です。
みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。